八幡めぐり

～史跡への散策～

八幡八幡宮

八幡地区には文化財が多く点在しており、これらを見て回りながら、わが郷土の歴史に触れていただくと共に、皆さんが文化財等に興味をもたれることを期待しております。

また、子どもたちの学習の場としても、生きた教材として活用することができると考えております。

ぜひ、このマップで「歴史への散策」を楽しんでください。

平成１６年１２月（初版）
平成２３年１０月（改訂）

作成・発行 ／ 八幡地区地域づくり活動協議会

駅や道

❶群馬八幡駅

信越本線高崎～横川間の開通当初、北高崎・安中間８．２キロの間に駅がなく、沿線の旧八幡村の人々が駅の設置運動を展開し、大正１３年に群馬八幡駅ができた。なお、現駅舎は平成１４年３月９日から使用している。

❷現在の草津街道（石塔祠薬師様）

高崎宿赤坂より一部中仙道と重なり、豊岡万日堂より三叉路で別れ、現在の４０６号線を右に左に剣崎薬師堂（今はなし）・石塔祠を経て剣崎長瀞線を過ぎ、金井渕（右はるなくさつ、左やわた＝板鼻道安永５年）の道しるべ。近くにも、右しらかわ左はるなくさつ有り。

歴史を伝えるもの

❸八幡大門通りの大鳥居

国道１８号沿いに平成２年再建された高さ１２．５ｍの大鳥居。上部に「八幡宮」と書かれた額が掲げてあるが、これは源義経主従が奥州下向の途上八幡宮に祈願した折、弁慶が書いた額と言い伝えられている。

❹八幡宮参道の杉並木を偲ぶ碑

鎌倉時代以前から八幡宮参道には天にも届く程の杉並木が道の両側にあったが、昭和４３年には惜しまれ乍ら伐採されたので、杉並木を偲ぶ碑（老木の慰霊碑）を建てた。

❺八幡宮参道の御神鐙

其の昔、源義家が奥州征伐の折、八幡宮に祈願の燈明を上げようとしたが、燭台が見当たらず馬の鐙（あぶみ）を使用した事から御神燈の「燈」の字が「鐙」となっている。

❻八幡宮参道の大欅

建立１０５０年の歴史のある八幡宮より南へ１キロにあった欅並木の最後の一本で、胴回りは６メートル余もあるが空洞化して皮だけで生きている長寿欅。

❼「石塔・供養塔・祠」

寛政年間に富田構仲（職人組）が石佛地蔵尊等１０数基の石塔・供養塔を建立、内１２基が現存している。明治６年に地蔵尊御堂を建立（現在、八幡町第二区東公民館）した。毎年８月子供連が地蔵會（祭）を行っている。

寺・神社・まちの史跡

❽八幡八幡宮

応神天皇・神功皇后・玉依姫を祭神とする当社は９５７年（平安時代）に創建され、古くから一国一社の八幡宮として尊崇されてきた。建物は権現造りの本殿の他仏殿様式が残っている由緒深いもので市重文に指定されている。なお算額三面が県重文に、鎌倉まつの胴丸が市重文に指定され、初詣、春秋まつりに各方面からの参詣者で賑っている。

❾大聖護国寺

寺の名は「だいしょうごこくじ」日本唯一の寺。弘法大師直系の高僧が京都醍醐寺報恩院殿の末寺として建てられた。山門の鬼瓦は葵の紋、棟木は籠目の桂昌院の紋がある。将軍綱吉、桂昌院、甘楽小野得成寺住職亮賢が深く関わる歴史的にも由緒ある有名なお寺である。

❿天照皇大神宮・射水神・洪水祈念之碑

・天照大明神を祀る。建立不明。
・射水神／大正９年６月、赤岩下が地滑りをして、碓氷川を塞ぎ、人、家、田畑に被害を与えたため、村民が堤防を作り、村を守ることを願い、大正１１年に碑を建てる。
・洪水祈念之碑／明治４３年、大洪水のため、藤塚村が流されたが、兵隊の出動、近隣の人たちの協力、皇族からの見舞金、国からの援助により復村、後世に伝える碑。

⓫一里塚（県指定史跡）

家康が江戸日本橋から４キロごとに、五間四方の盛土をして、中央に榎を植え、行程の目安とし、ここ一里塚は２８里（１１２キロ）にあり、道の両側に塚があったが、道路の拡幅のため南側に残っている。樹齢は２００年は超えると思われる。

⓬浅間神社富士山

神社のもとは静岡県富士宮市にあり、永享年間建立（１４３０年）。木ノ花咲夜姫の祭神、祭日は７月１４日。富士→藤、塚があり、地名が藤塚に由来。

⓭鳴熊神社

鳴熊の地名は、昔この地区に熊がよく出て、毎日鳴いていたところからこの地名がつけられたという。神社名も、これに合わせて村の氏神様として祀られた、と思われる。以前は、現在位置より奥に入ったところであったが、整地などで移された、という。また、一説には上野国一社八幡宮の分霊が祀られているとも、いわれている。

⓮湯殿山供養塔

高崎市の西部、上野国一社八幡宮のすぐ東方に隣接して大聖護国寺がある。供養塔は境内に建立されている。文化５年成辰（１８０８年）、四国八十八ヶ所、西国三十三ヶ所、秩父三十四ヶ所、坂東三十三ヶ所を皆が資金を出し合って代表者が巡礼して建てた塔で、ここをお参りすると、四国西国秩父坂東を巡礼したことになると、伝えられている。

⓯宝積寺

門前に念仏供養地蔵立像（享保５年）、聖観音がある。本尊、阿弥陀如来の天台宗の寺。境内に八幡地区忠霊塔がある。

⓰剣崎小路城跡（御嶽山神社）

中世末期、武田信玄と箕輪城主長野氏との攻防の跡を今に伝えるのが剣崎小路城である。１５６４年（元禄７年）倉賀野城は信玄により落城し、その家臣で倉賀野城の福田加賀守に信玄より直接与えられたとされているのが、剣崎小路城である。実際に城があったのは、福田屋敷といわれているところ。戦国末期から、江戸時代の初めまで１２９年間存在したとされる城址である。

*高崎市文化財保護賞受賞　平成１５年１２月４日　剣崎上下町内会

⓱剣崎長瀞西遺跡

高崎市西北部の烏川と碓氷川に挟まれた東西に長い大地に存在する複合遺跡である。縄文・弥生・古墳の三時代に関する数多くの出土品が見られる。特に、渡来人の馬に関する出土品が多い。中でも、珍しいのは１０号古墳から出土した純金の垂飾付耳飾は貴重な出土品であり、現物は観音塚考古資料館で見ることができる。今でも、遠い昔の美しい金色の光を放す出土品である。

歴史を伝える文化財・伝統芸能

⓲矢口丹波記念文庫（非公開）

昭和５６年市指定重要文化財「矢口家丹波正日記」、市史編さん室登録分７３３点、国文学研究資料館分７９１点、他古文書写本類１５００点余を所蔵する。

⓳八幡宮の大々神楽

社殿を作る前からあったといわれる神楽も一度途絶えたが、宝暦４年、京都の神祇官領に願い出て復興され、以来３６座の舞が全て正しく継承され、年４回奉納されている。

⓴八幡の鳥追い祭

正月「成人の日」前夜、八幡宮周辺の町内から４台の屋台が繰り出され、太鼓・鉦を叩き笛を吹いて鳥を追払い、町内の安全と繁栄を祈る祭りで、江戸時代より伝わる八幡六郷流お囃子を競演し乍ら町内を巡行する。

古墳

㉑観音塚古墳

６世紀後半（今から約１４００年前）碓氷川流域で最後に造られた前方後円墳が八幡観音塚古墳である。

㉒平塚古墳

５世紀末（今から約１５００年前）碓氷川に最初の前方後円墳で、全長１０５ｍの墳丘は八幡台地の河岸段上に位置している。

㉓二子塚古墳

この古墳は、平塚古墳から東へ３００ｍほど進んだところに位置している。全長約６６ｍは碓氷川沿いの前方後円墳の中では小さなもの。

市の施設

㉔観音塚考古資料館

高崎市観音塚考古資料館は、国指定史跡八幡観音塚古墳出土品の収蔵保管と公開展示を目的として、昭和63年11月29日に開館したサイトミュージアムである。展示室には、観音塚古墳から出土した国指定重要文化財や、高崎市内から発見された考古資料を常時展示している。

㉕剣崎浄水場

剣崎浄水場は市の西部、剣崎町の高台に、明治４３年に創設された高崎市で最も古い浄水場です。若田浄水場と同じく旧群馬郡榛名町の春日堰から取り入れた烏川の水を、緩速ろ過方式により浄化し地形の高低差を利用した自然流下方式で給水している。

散策モデルコース

（注）文中の数字は見学時間を除いた概の所要時間（分）です。

史跡

Aコース　徒歩約40分

群馬八幡駅 ―⑩―⑫―⑪― 群馬八幡駅

Bコース　徒歩約50分

群馬八幡駅 ―⑮―②―⑯―⑬― 群馬八幡駅

Cコース　徒歩約75分

群馬八幡駅 ―④―③―⑥―⑤―⑧―⑨―⑭―⑱―⑦― 群馬八幡駅

Dコース　車で約25分

群馬八幡駅 ―㉔―㉓―㉒―㉑―⑰―㉕― 群馬八幡駅

少林山・展望花の丘

車で往復約30分

群馬八幡駅―少林山達磨寺―展望花の丘―群馬八幡駅

高崎市の各施設

車で往復約15分

群馬八幡駅―八幡霊園―若田浄水場―群馬八幡駅

交通機関案内

◆ぐるりんバス案内

少林山線 乗附先回り　系統番号１　約50分
少林山線 豊岡先回り　系統番号２　約25分
高崎駅（西口）～群馬八幡駅
料金：大人200円・子供（小学生以下）100円
専用１日フリー乗車券500円

◆ＪＲ案内（信越本線）

・高崎駅―群馬八幡駅下車（約10分）
・横川駅―群馬八幡駅下車（約20分）

◆タクシー案内

・群馬八幡駅前に常駐

◆レンタサイクル

・群馬八幡駅駐輪場に４台あり（無料）

文 小中学校	病医院
幼 幼稚園	銀行・信用金庫
育 保育園	GS ガソリンスタンド
交番	S スーパー
公 公民館	コンビニエンスストア
集 集会所	郵便局
農 農協	神社
消防署	児 児童公園
消コ 消防コミュニティセンター	バス停